発行月：平成25年8月　家族新聞　第287号

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事　髙橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
（渋川福祉センター内）
TEL　0561-51-2878

ゴミをポイと捨てると、そのあと、みんな、そこに捨てる

平成二十五年七月七日（日）
午前八時半から十時迄
名古屋上半田川線県道（20名）
第三十一回アダプト連動
長坂・緑町アダプト連動（15名）

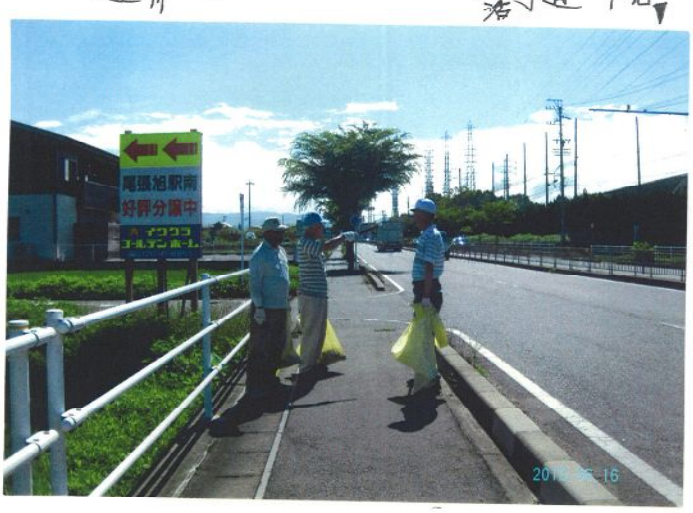
街中でも道路でも、いつも綺麗に掃除が行き届いているところなど不思議といつまでも汚れない。ところがゴミなどが散らかっている場所はあとからあとからゴミが捨てられゴミ捨て場のようになってしまう。

あなたが捨てたゴミがほかのゴミもどんどん呼び寄せる。

▲清掃活動
瀬戸川子供連
三郷

▲タバコは、見えない害。
タバコについては副流煙の害が指摘されていますが、それ以前に、あのにおいがタバコ嫌いには耐えられない。たとえば食事をしているときでも同じ空間で誰かが一本タバコを吸ったら、たとえ離れていても雑臭にわかります。同席に嫌悪感を被る人がいる可能性があるという場所ではタバコはひとまず控え他人を思うという姿勢が望まれるのではないでしょうか。
長坂町緑町

▲同辺瀬戸川県道



▲清掃活動
県道朝事

▼環境ボランティア前

▶雑草が繁る三郷県道の一部